

## 本学学生・地域の皆様へ：令和3年度「選挙トリセツ」参画学生コメント

平素は大変お世話になっております。人間社会学科の竹村弘樹と申します。

本書面では僭越ながら、本学から「選挙トリセツ」(令和3年度)に参画した学生スタッフとして、コメントをさせていただきます。

私自身、元々「政治学」には強い関心を抱いておりましたが、こと「選挙」という行い(制度)に対しては、一「大学生」として「若者の政治参加」≒「主権者教育」という観点からも目を向けるよう、努めていました。

「選挙トリセツ」での活動は、そんな関心を自分の中に留めるのみならず、それを行政機関や他大学の学生との連携で、市内の高校生に発信する好機となり、同時に「投票促進」を啓発する上での原動力となったかと振り返ります。

また、今年7月には参議院議員選挙が控えており、高校生にとって「2022年」とは、トリセツを読んで「すぐに」投票ができるチャンスOfYearだと言えます。

今年度のトリセツは「ゲーム」をモチーフにしたわけですが、高校生にとって特に親しみ易いデザインで、若者の投票率向上にも直接結び付くかと思えます。

「啓発」を目的としたトリセツのデザインと、「現実」に行われる選挙の雰囲気とのギャップに、最初は戸惑うかもしれませんが、まずは「面白そうだ」と気楽に思って、市内の高校生にはトリセツを是非とも手に取ってほしいです。

トリセツを読むことで、選挙に行く「意義」を、その先にある実際の「投票」も見据えて捉えてもらうことで、結果的に高校生自身が「政治」に対する、あらゆる「可能性」を各々で導き出せるのではないかと考えております。

末筆ながら、本活動を支えてくださった学内外の方々に謝意を申し上げます。

まず、「選挙トリセツ」を主催し、活動内で常に的確な指示と助言をくださった静岡市選挙管理委員会事務局の青木陽一郎様(事務局長)・前嶋純様(主査)、同じスタッフとして紙面作成に携わった学生の皆様には、大変お世話になりました。

および、「法学概論」の講義を通じて、政治学・法学の素養をなお高めさせ、本活動をご紹介してくださった静岡大学の井柳美紀先生に、深く感謝いたします。

そして、日々の学生生活において絶えず応援をくださる本学教職員の方々や、互いに志を高め合っている友人にも、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今後も地域社会への貢献に際し、本学が創立時より守り続ける建学の精神「愛と奉仕の実践」を日常生活の中で応用できるよう、自己研鑽に励む所存であります。学生主体の選挙啓発活動の進展に、今後もどうかご期待ください。

静岡英和学院大学 人間社会学部 人間社会学科  
令和3年度「選挙トリセツ」学生ボランティアスタッフ  
竹村 弘樹